

第10回 越前和紙七夕吹き流し

コンテスト作品展

7/7(土)
~7/22(日)

10:00~18:00
22日は16:00まで

[会場]

いまだて芸術館

芸術館・卯立の工芸館・紙の文化博物館
三館の共通入館料

大人 200円(150円)

()内は15名様以上の団体料金

ガリ版とシルクスクリーン
孔版画の逸品展(芸術館編)

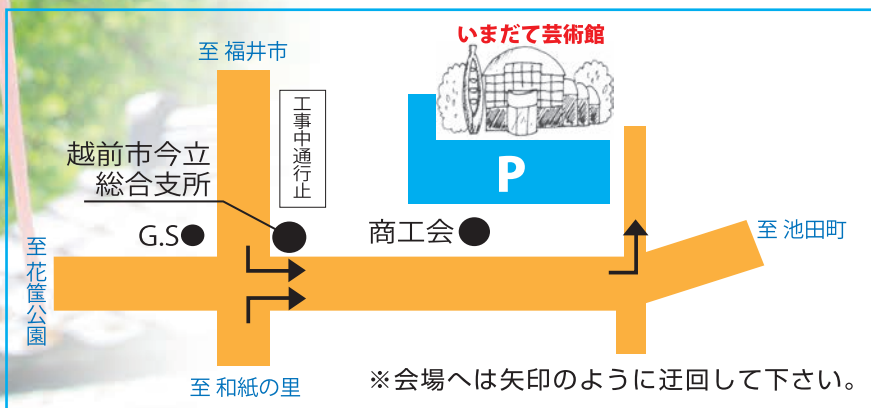
- 助田篤郎氏の謄写版作品
- 渡邊昭子氏のシルクスクリーン作品
- ウィギーカンパニー作品

広島県熊野町
「筆の里ありがとつちのちよつと大きな絵てがみ大賞」より

絵てがみ作品展

芸術館にて
同時開催

※本コンテストは今回で最後とさせていただきます。



[主催] 越前和紙七夕吹き流しコンテスト実行委員会

〒915-0232 福井県越前市新在家町8-44(パピルス館内)

Tel.0778-42-1363 <http://www.echizenwashi.jp>

共催:(公財)越前市文化振興・施設管理事業団 協力:広島県熊野町 筆の街交流館K-JIN

協賛:越前市商工会・越前そばの里(株)武生製麺・(一社)朝倉氏遺跡保存協会・(公財)丸岡文化財団
(公社)福井県観光連盟・株式会社ウララコミュニケーションズ・スキージャム勝山(株)東急リゾートサービス
しきぶ温泉湯楽里・タケフナイビルレッジ・和紙の店うめ田・岡本公民館・福井県和紙工業協同組合

美術館にて
同時開催

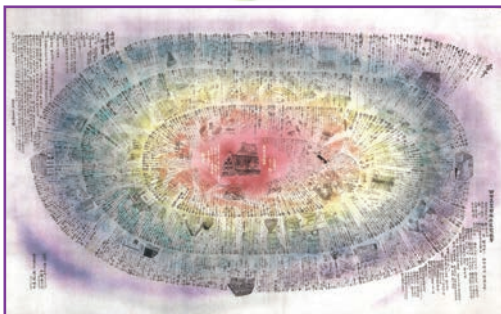
膳写版(ガリ版)とシルクスクリーン こ う は ん が 孔版画の逸品展(美術館編)

膳写版・スクリーン印刷など、細かい孔(あな)のある版の裏側からインクをにじみ出させて印刷する孔版印刷。道具がシンプルな反面、多色刷りなど細かな表現を出すためには、作り手の高度な技が欠かせません。今回の展示では、孔版印刷を使った、越前和紙にも馴染みの深い作家の逸品を展示します。繊細、ダイナミック、モダン…。それぞれの作風をお楽しみいただけたら幸いです。



膳写版作品
「みょうが」

助田篤郎氏による膳写版(ガリ版)作品。「野の花シリーズ」など、素朴で繊細な作風と、手刷りのガリ版印刷を12度刷り多色印刷という芸術の域にまで高めた技に圧倒される。7月16日まで卯立の工芸館にて開催している作品の原画である「越の花365日」の絵巻物など展示。



シルクスクリーン(部分)作品
「合掌まんだら」

渡邊昭子氏(故人)が、岐阜県白川郷の合掌造りの民家を解体し移築する過程を、楮と三椏を原料にした高さ2.3×幅3.5mの特漉き和紙に描いた作品。白川村の子どもたちが描いた絵の部分がシルクスクリーンで添えられている。1994年制作、軸装仕上げ。ほかに、軸装「無量寿経」も展示。



シルクスクリーン作品
「よいこのいろはがるた」

レトロ・モダンな作風の文具などを手がけるウィギーカンパニーの作品。インクの鮮やかさが映えるメリハリの効いたシルクスクリーン印刷の特長と、軽妙なイラストや言葉をミックスさせて「いろはがるた」に仕上がっている。ほかに、女性に人気の高い「おみ足シリーズ」も。



広島県熊野町

「筆の里ありがどうのちょっと大きな絵てがみ大賞」より

絵てがみ公募入賞作品展

「熊野筆」で知られる広島県熊野町で平成9年から開催されている「絵てがみ」全国公募展の入賞作品から、これまで毎年50点をお借りして展示させていただいてきました。

「ありがどう」をテーマに、人生の喜びや悲しみ、心の底から沸き上がる感情を、文や絵を介して表現された作品の数々に、ほのぼのとした人と人の交流が感じられます。

